B6FJ-5191-01

テレビ操作ガイド

「テレビ機能」を詳しく紹介

このマニュアルを読む前に

受信環境の確認

地デジを受信できる環境であるか確認しましたか？
まだ確認していなければ、次のチャートでチェックしてください。

現在、テレビはケーブルテレビで見ていますか？

見ている → **ケーブルテレビの電波の伝送方式を確認してください。**
ケーブルテレビで地上デジタル放送を見る場合は、伝送方式が「**同一周波数パススルー方式**」または「**周波数変換パススルー方式**」である必要があります。
詳しくは、ケーブルテレビ会社にご確認ください。

見ていない ↓

お住まいの住宅の種類は？

アパート、マンションなどの共同住宅 → **現在の環境で地上デジタル放送を受信できるか確認してください。**
共同アンテナの種類や向きなどが、地上デジタル放送に対応しているか、大家さん、管理組合、管理会社などにご確認ください。

一戸建て ↓

UHF放送（13～62チャンネル）を受信できていますか？

できている → **一般的には地上デジタル放送を見られます。ただし、お使いの環境によっては、新たにUHFアンテナが必要になる場合や、アンテナ方向の変更などが必要になる場合があります。**
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

できていない ↓

地上デジタル放送に対応したUHFアンテナの設置工事が必要です。
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

注：地上デジタル放送が受信できる環境でも、お使いの状況によって、次のような機器が必要になる場合があります。
・ブースター／アッテネーター／分配器／分波器／混合器
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

地上デジタル放送を見るためには

付属品を確認する　『箱の中身を確認してください』

↓

リモコンの準備をする　『取扱説明書』

↓

アンテナ線を接続する　『取扱説明書』

↓

B-CASカードを挿入する　『取扱説明書』

↓

初回設定を行う　「1.1　テレビを見るための準備をする」の「STEP4.　「Windows Media Center」の初回設定をする」

↓ テレビの視聴や録画には、ライセンス認証が必要なため初期設定前にパソコンをインターネットに接続してください。

見る　「1.3　テレビを見る」

見ることができないときは？
「5.1　画面がおかしい」の「地上デジタル放送が映らない」

■問合せ先（地デジ放送について）

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）
電話番号：0570-07-0101（IP電話等でつながらない場合は、03-4334-1111）
受付時間：平日…9時から21時　　土日・祝日…9時から18時

（社）デジタル放送推進協会（略称：「**Dpa**／ディーピーエー」）の
ホームページも見てみよう！

http://www.dpa.or.jp/

デジタル放送に関する情報をご覧になれます。

・地デジとは？
・自分の住んでいるところに電波がきているのかなぁ
・未対応地域の放送開始予定など

（2010年8月現在）

目次

このマニュアルの表記について

●画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

●本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。 必ずお読みください。
Point	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	冊子のマニュアルを表しています。
Web	Webで公開している『補足情報』を表しています。 『補足情報』は次の手順で表示します。 1. インターネットに接続した状態で、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「@メニュー」▶「@メニュー」の順にクリックします。 2. 「@メニュー」の「安心・サポート」から「富士通のパソコンのマニュアルを見る」を選択し、「このソフトを使う」をクリックします。

●製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows® 7 Home Premium正規版	Windows
Windows® Internet Explorer® 8	Internet Explorer
Corel® WinDVD®	WinDVD

●操作説明について

- このマニュアルでは、リモコンで操作できる箇所はリモコンを使った説明としています。マウスで操作する場合は、操作対象となるボタンや選択肢を直接クリックしてください。

リモコンでの操作	マウスでの操作
‹ ⇕ ›で「確定」を選択し、【決定】を押します	「確定」をクリックします

- 本文中の操作手順において、連続する操作手順は「▶」でつなげて記述しています。

  例）（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

  …（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」の順にクリックします。

- LIFEBOOKをお使いの場合、このマニュアルで「マウスで操作する」とある箇所は、フラットポイントでも操作できます。

●商標および著作権について

Microsoft、Windows、Aero、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国および/またはその関連会社の商標です。
Corel、Corelのロゴ、WinDVDはCorel Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。
AVCRECは、Blu-ray Disc Associationの商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

安全上のご注意

●このパソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報です

本製品でテレビ、DVD、Blu-ray Disc、ゲームなどの映像を見たり、本製品にご家庭のテレビなどを接続したりしてご利用になる場合には、部屋を明るくして、画面から充分離れてご覧ください。
映像を視聴する方の体質によっては、強い光の刺激や点滅の繰り返しを受けることによって一時的な筋肉の痙攣や意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
また、このような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

お使いになるうえでのご注意

●大切な録画・録音・編集について

- 大切な録画・録音・編集を行う場合は、事前に試し録画・録音・編集をして、正しくできることをご確認ください。
- 本製品およびディスクを使用中に発生した不具合、もしくは本製品が使用不能になったことにより、録画・録音・編集されなかった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。

●ハードディスクについて

ハードディスクは非常に精密な機器です。お使いの状況によっては、部分的な破損が起きたり、最悪の場合はデータの読み書きができなくなったりするおそれもあります。ハードディスクは、録画・録音した内容を恒久的に保存する場所ではなく、一度見るためや、DVDやBlu-ray Discに保存したりするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

●停電などについて

- 本製品の動作中に停電などが起こると、録画ができなかったり、ハードディスクに保存してある録画データが損なわれたりすることがあります。大切な録画データは、DVDやBlu-ray Discに保存されることをお勧めします。
- 録画中やディスクへの保存中に停電などが起こると、録画や保存に失敗したり、ハードディスクから録画データの一部、またはすべてが削除されたりする場合があります。このとき、録画データの一部、またはすべてを、再生できない場合があります。

●著作権について

本製品で録画・録音したものを、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、インターネット配信、レンタル（有償・無償を問わず）、販売することは、法律により禁止されています。

●LIFEBOOKをお使いになるときのご注意

本製品でテレビ機能を使用するときは、パソコン本体にACアダプタを接続してください。

第1章　テレビを見る

本章では、テレビを見る前にあらかじめ必要となる準備、注意事項、リモコンの操作方法、番組表の見方などについて説明します。

1.1　テレビを見るための準備をする

このパソコンでテレビ番組を見るためには、デジタルテレビと同様の準備が必要です。ここでは、テレビを見るための準備について説明します。

■ 地上デジタル放送を見るための準備

地上デジタル放送を見るためには次の準備が必要です。

STEP1.　お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内か確認する

社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2010年8月現在）で、お住まいの地域が地上デジタル放送のエリア内であるか確認することができます。

STEP2.　アンテナケーブルを接続し、**B-CAS**カードをセットする

『取扱説明書』をご覧になり、アンテナケーブルの接続とB-CASカードのセットを行ってください。

B-CASカードについて

- このマニュアルでは、「B-CASカード」と「miniB-CASカード」を総称して、「B-CASカード」と呼んでいます。
- デジタル放送の放送信号は暗号化されており、受信機で暗号を解除する必要があります。B-CASカードには、この暗号を解除するためのICチップが入っています。
- B -CASカードについての詳細は、カードが貼り付けられていた台紙をご覧ください。
- B -CASカードは、お客様と（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）社との直接契約に基づき使用するものです。B-CASカード使用許諾契約約款に従って管理してください。
- パソコンの修理時は、B-CASカードを取り外し、お客様の責任で保管してください。
- B -CASカードの紛失・盗難時や、破損したり汚れたりした場合は、B-CAS社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

  （株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（B-CAS）　カスタマーセンター
  　電話番号：0570-000-250［IP電話の場合045-680-2868］
  　受付時間：10：00～20：00

STEP3.　インターネットに接続する

テレビの初期設定、視聴、録画、録画番組のディスクへの保存には、インターネットへの接続が必要です。まず、インターネット接続の設定が完了していることを確認し、パソコンをインターネットに接続してください。
インターネット接続について、詳しくは『取扱説明書』をご覧ください。

STEP4.　「Windows Media Center」の初回設定をする

1. **Windowsが起動していない場合は、リモコンの【パソコン電源】を押します。**

Windowsが起動します。

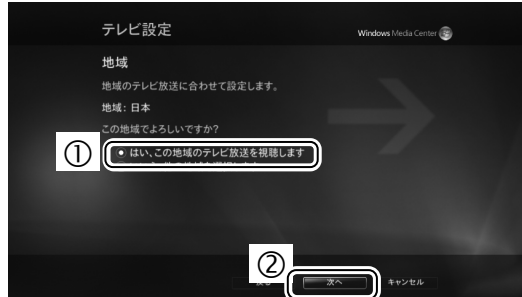
2. **【テレビ】を押します。**

マウスを使って起動する場合は、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Windows Media Center」の順にクリックします。
次のような画面が表示されたときは、【決定】を押し、手順3の画面まで進んでください。

3. **‹ ˆ ˇ ›で「テレビの初期設定」を選択し、【決定】を押します。**

4. 「はい、この地域のテレビ放送を視聴します」を選択します。

① 【決定】を押して、「はい、この地域のテレビ放送を視聴します」の を にします。

② 「次へ」が選択されていることを確認し、【決定】を押します。

5. お住まいの地域の郵便番号を設定します。

① リモコンの数字ボタンで郵便番号を入力します。

② 「次へ」が選択されていることを確認し、【決定】を押します。

6. テレビ番組ガイドのサービス条件を確認します。

① サービス条件をお読みになり、【決定】を押して、「同意する」の を にします。

② 「次へ」が選択されていることを確認し、【決定】を押します。

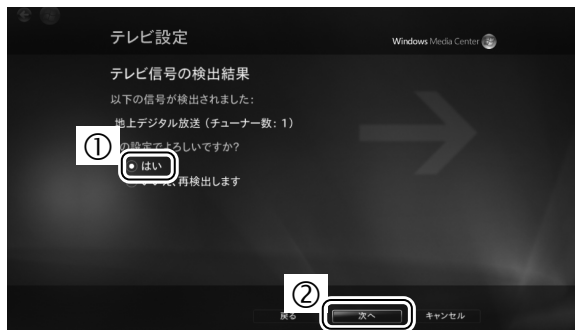
サービス条件やライセンス条項を読むためスクロールするには、 を押します。

7. 「**PlayReady**」のソフトウェアライセンス条項を確認します。

① ライセンス条項をお読みになり、【決定】を押して、「同意する」の○を◉にします。

② 「次へ」が選択されていることを確認し、【決定】を押します。

テレビ関連情報のダウンロードが始まります。しばらくお待ちください。

8. 「はい」を選択します。

以降の画面は機種や状況により異なります。

① 【決定】を押して、「はい」の○を◉にします。

② 「次へ」が選択されていることを確認し、【決定】を押します。

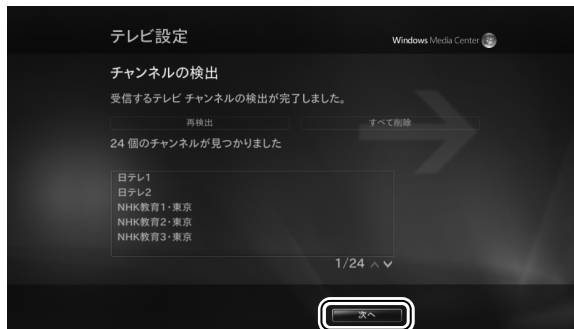
9. お住まいの地域を選択します。

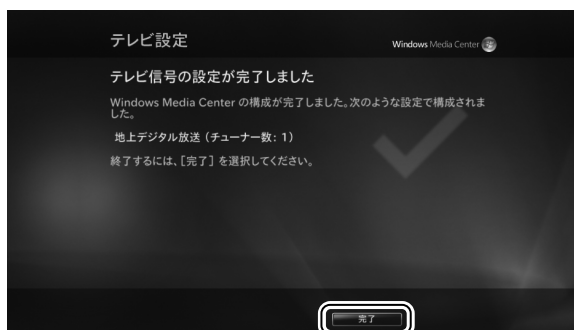
① 〈↕〉で最寄りの地域を選択し、【決定】を押します。

② 「次へ」が選択されていることを確認し、【決定】を押します。

10. 「テレビ信号の構成」の画面で「次へ」を選択し、【決定】を押します。

チャンネルの検出が始まります。しばらくお待ちください。

11. 「次へ」を選択し、【決定】を押します。

チャンネルが正常に検出できない場合は、「5.1　画面がおかしい」の「地上デジタル放送が映らない」をご覧ください。

12. 「完了」を選択し、【決定】を押します。

13. 「終了」を押して「**Windows Media Center**」を終了し、パソコンを再起動します。

これで初回設定は完了です。

1.2　テレビを見るときの注意

ここでは、「Windows Media Center」のテレビ機能をお使いになるときに注意していただきたいことを説明します。

■ 電波の受信状態について

- 画像および音声の品質は、アンテナの電波受信状況により大きく左右されます。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が弱い場合や、室内アンテナをご利用の場合などは、受信状態が悪く、画質に影響が出ることがあります。この場合はご購入の販売店へ相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをお使いになる場合は、アンテナブースターのマニュアルをご覧ください。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が強すぎる場合は、受信レベルが飽和し、画質に影響が出ることがあります。この場合はご購入の販売店へ相談されるか、市販のアッテネーターをご購入ください。アッテネーターをお使いになる場合は、アッテネーターのマニュアルをご覧ください。

■ テレビの視聴や録画、再生などに関する注意

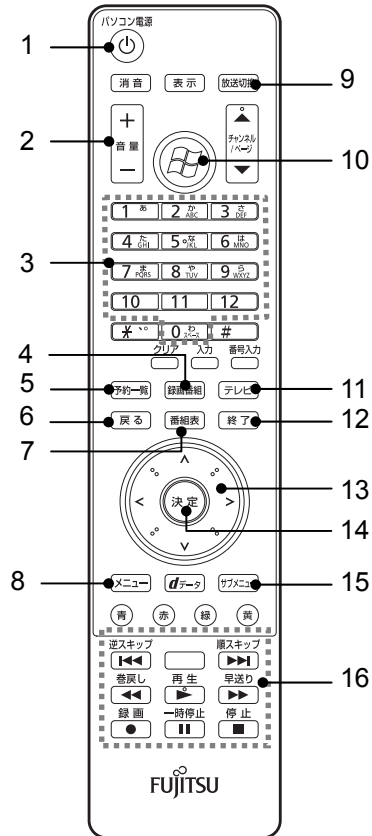
- テレビの視聴や録画には、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行うために、常にパソコンをインターネットに接続してください。また、パソコンの日付と時刻の設定が正しくないと、正常にライセンス認証が行えないので、日付と時刻の設定を確認してください。詳しくは、「2.2　テレビ番組を録画する」の「パソコンの時刻合わせ」をご覧ください。
- 「Windows Media Center」は、他のソフトウェアと同時に使ったり、使用中にスクリーンセーバーを動作させたりしないでください。「Windows Media Center」をお使いのときに、「Windows Media Player（ウィンドウズメディアプレーヤー）」など他のソフトウェアやスクリーンセーバーが動作していると、音声が途切れる、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- テレビの視聴をしているときに、使用状況やシーンによっては、映像がスムーズに再生されない場合があります。
- 字幕対応番組を視聴中に「消音」にすると、自動的に字幕が表示されます。
- ダブル録画に対応している機種を除き、録画中に別番組を視聴することはできません。
- デジタル放送の5.1チャンネル音声は、次の場合に2チャンネルのステレオ音声に変換（ダウンミックス）されます。
  - ・　パソコン本体のスピーカーから出力する場合
  - ・　LIFEBOOKとデジタルテレビをHDMIケーブルで接続し、デジタルテレビのスピーカーから出力する場合
- 電源プランの設定は「バランス」または「高パフォーマンス」でお使いください。
  （スタート）▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にクリックすると、電源プランを設定するウィンドウが表示されます。ここの設定を「バランス」または「高パフォーマンス」にしてください。
  上記以外の設定の場合、映像がコマ落ちすることがあります。

■ その他の注意

- 「Windows Media Center」の使用中に、画面の各種設定を変更しないでください。
  また、画面の解像度と発色数は、ご購入時の状態から変更せずにお使いください。ご購入時の設定から変更している場合はマウスを使って、デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューの「画面の解像度」をクリックして、設定し直してください。ご購入時の設定については、『取扱説明書』の「仕様一覧」を確認してください。
- 定期的にデフラグを実行してください。ハードディスクへの録画を頻繁に行うと、ハードディスク内のファイルが断片化され、ハードディスクへの読み書き速度が低下します。定期的なデフラグの実行をお勧めします。

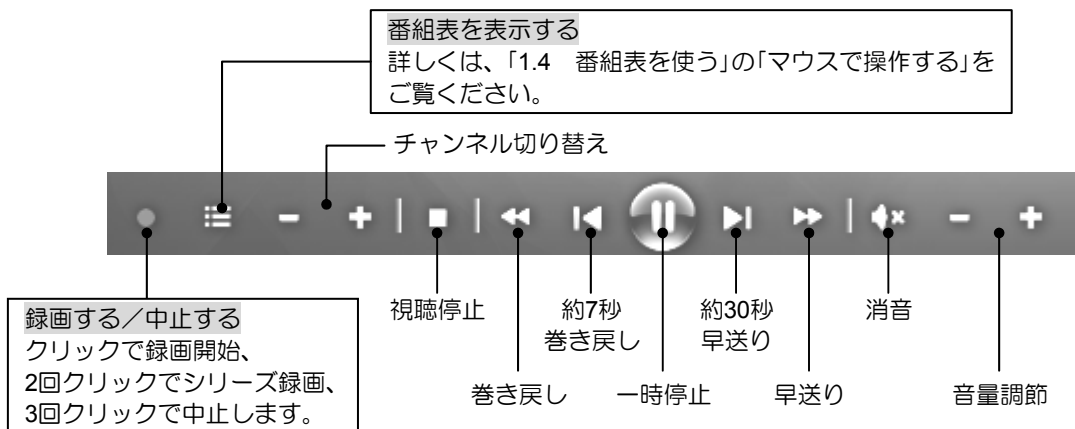
1.3　テレビを見る

ここでは、テレビの基本的な操作方法について説明します。
テレビの操作には、「リモコンでの操作」と「マウスでの操作」があります。

■ リモコンで操作する

1　パソコン電源ボタン パソコンの電源を切る、またはスリープ状態にします。	9　放送切換ボタン このパソコンでは使用できません。
2　音量ボタン 音量を調整します。	10　Media Centerボタン 「Windows Media Center」を起動します。
3　数字ボタン チャンネルを切り換えます。	11　テレビボタン テレビを起動します。
4　録画番組ボタン 録画された番組の一覧を表示します。	12　終了ボタン 「Windows Media Center」を終了します。
5　予約一覧ボタン 予約している番組の一覧を表示します。	13　‹⌃⌄›ボタン 番組表の番組やメニューを選択します。
6　戻るボタン メニューや番組表を表示しているときにひとつ前の画面に戻ります。	14　決定ボタン 番組表を表示しているときは、番組の詳細情報を表示します。 メニューを表示しているときは、メニュー項目やボタンを選択します。
7　番組表ボタン 番組表を表示します。	15　サブメニューボタン サブメニューを表示します。
8　メニューボタン このパソコンでは使用できません。	16　操作ボタン 録画したテレビ番組を視聴するときは、再生や一時停止などをします。 番組表を表示しているときは、前日や翌日の番組表を表示します。

■ マウスで操作する

1	前の画面に戻ります。	4	「Windows Media Center」のメニュー画面を表示します。
2	視聴している映像が記録された時刻を表示します。	5	任意の時点をクリックすることでその時点に移動する「タイムシフト可能時間」を表示します。
3	データ放送を操作します。	6	録画の開始や再生などを行う操作パネルです。

操作パネル

■ タイムシフトモード

タイムシフトモードとは

このパソコンは、放送中の映像を一時的に録画しながら表示する「タイムシフトモード」になっています。録画したデータを見ているので、録画番組を見ているときのように一時停止したり、巻き戻したりしてみることができます。

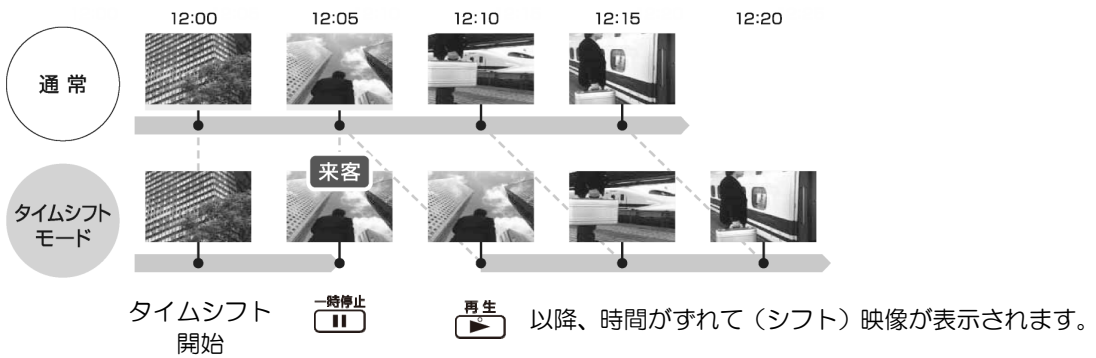
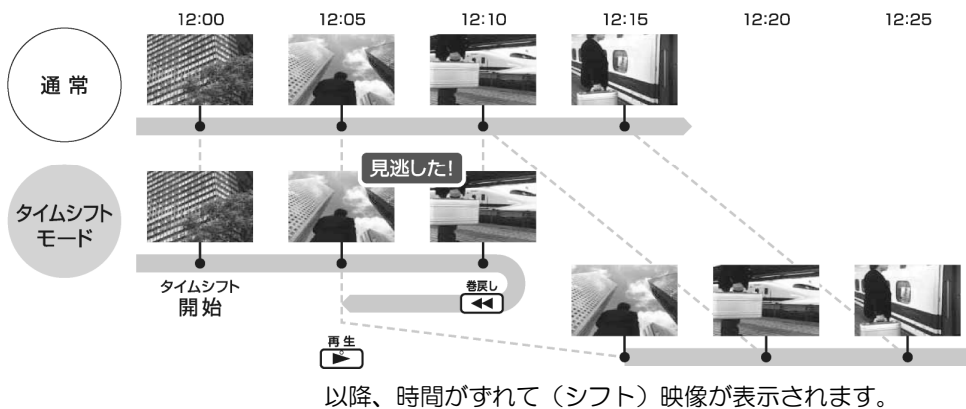
タイムシフトモードに関する注意

- チャンネルを切り替える前の映像を戻して見ることはできません。
- タイムシフト時間（現時点からさかのぼれる時間）は、最長40分です。

タイムシフトモードの例

一時停止・再開

巻き戻し

以降、時間がずれて（シフト）映像が表示されます。

■ サブメニュー

リモコンで操作

1. 視聴中の画面が表示されている状態で、【サブメニュー】を押します。

2. ‹ˆˇ›で項目を選択し、操作をします。

3. もう一度、【サブメニュー】を押すと、サブメニューが終了します。

マウスで操作

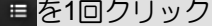
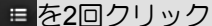
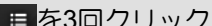
マウスで操作する場合は、各画面の何もボタンなどが表示されていないところで右クリックするとサブメニューが表示されます。

1.4　番組表を使う

このパソコンには、放送波からテレビ番組の情報を取得し、表示するための電子番組表が用意されています。
番組表の利用には、「リモコンでの操作」と「マウスでの操作」があります。

番組表を使うと、次のことができます。

- 番組表を見る
- 番組を探す
- 番組表で録画予約する（方法については、「2.2　テレビ番組を録画する」の「番組表で予約録画する」をご覧ください。）

■ リモコンで操作する

リモコンを使って次の操作ができます。

したい操作	リモコンで押すボタン
番組表を表示する	番組表
番組表を閉じる	戻る
選択している番組を見る	決定
12時間前の番組表を表示する	逆スキップ
12時間後の番組表を表示する	順スキップ
番組を予約録画する	録画

■ マウスで操作する

マウスを使って番組表を表示するときは、操作パネルを使って操作します。

を1回クリック	画面下部に番組表が表示されます。
を2回クリック	全画面で番組表が表示されます。
を3回クリック	番組表を終了します。

■ 番組を探す

番組のジャンルやタイトルなどから見たい番組を探すことができます。

1. を押します。

2. ‹⌃⌄›で「**Media Center**テレビ」▶「番組検索」を選択し、【決定】を押します。

3. ‹⌃⌄›で何をキーに検索するかを選択し、【決定】を押します。

4. ‹⌃⌄›や文字ボタンで番組を探します。

5. 予約を行う場合は、予約したい番組を選択し、【録画】を押します。予約についての詳細は、「**2.2**　テレビ番組を録画する」の「番組表で予約録画する」をご覧ください。

重要　番組表を使うときの注意

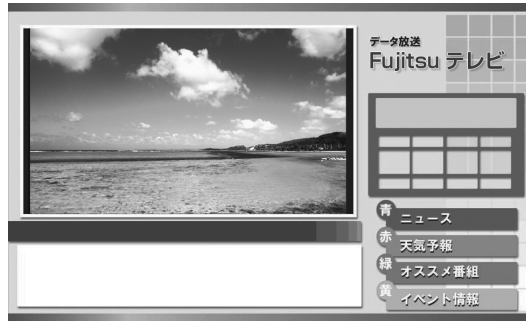
- 番組データは自動的に受信されますが、受信に時間がかかる場合があります。また、受信中は自動的にスリープや休止状態にはなりません。
- 番組表には、取得できたチャンネルの番組のみ表示されます。
- 番組表には、過去7日以内に選局したことがあるチャンネルの番組が表示されます。「番組データがありません」というメッセージが表示された場合は、いったん番組表に表示したいチャンネルを視聴した後、番組表を表示してください。

1.5　データ放送を見る

「データ放送」とは、番組の情報や、地域の天気予報や交通情報、最新のニュースなどの情報を見ることのできるサービスです。番組によっては、インターネットなどを介した双方向サービスを利用して、クイズに答えるなど、番組に参加することができます。

■ データ放送の見かた

データ放送の画面内では、リモコンを使って操作します。
マウスで操作をするときは、操作パネルを使用してください。
操作パネルについては、「1.3　テレビを見る」の「マウスで操作する」をご覧ください。

1. テレビ画面が表示されている状態で、【**d**データ】を押します。

2. ‹ ˆˇ ›、【決定】、【青】、【赤】、【緑】、【黄】などのボタンで操作します。
データ放送の画面では、マウスでの操作はできません。

3. もう一度【**d**データ】を押すと、データ放送が終了します。

第2章　テレビ番組を録画する

本章では、見ているテレビ番組を録画したり、予約録画する方法について説明します。

2.1　テレビ番組を録画するときの注意

ここでは、テレビを録画するときに注意していただきたいことを説明します。

本体にACアダプタを接続してください

- LIFEBOOKをお使いの場合、パソコン本体にACアダプタを接続してください。
  バッテリ残量が一定量以下になると、パソコン本体が自動的に休止状態になるため、録画が失敗したり予約録画が中断されたりする原因となります。

録画するときはこんなことに気をつけてください

- ウイルススキャンを行わないでください
  テレビの録画中にウイルススキャンが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。予約録画を行う場合は、同じ時間帯に自動スキャン機能が動作しないよう注意してください。自動スキャンの設定については、『取扱説明書』の「セットアップする」—「セキュリティ対策ソフトの準備をする」—「自動スキャン設定」をご覧ください。
- 周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください
  テレビ番組の録画中、または予約録画の待機中のときは、周辺機器の取り付け／取り外しや、メモリーカードの抜き差しなどをしないでください。録画に失敗する原因となります。
- 録画中は、シャットダウンや再起動をしたり、スリープや休止状態にしたりしないでください。録画が失敗する原因となります。
- 視聴中の別番組録画について
  ダブル録画に対応している機種の場合は、一方のテレビチューナーでテレビを視聴しているときでも、もう一方のテレビチューナーで別の番組を録画することができます。それ以外の機種では、視聴中の番組のみ録画することができます。

外付けハードディスクをお使いになる場合

- 外付けハードディスクの使用については、「第4章　外付けハードディスク」をご覧ください。

予約録画をする前に確認してください

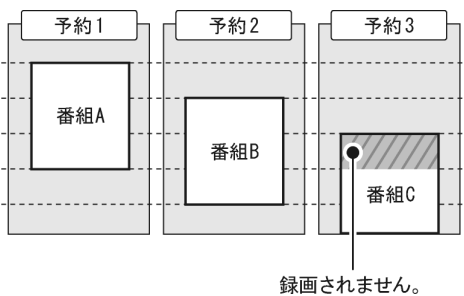
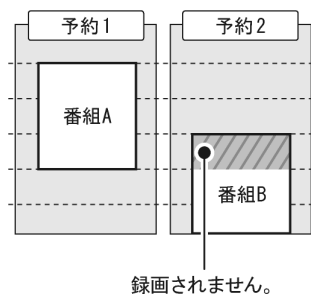
- パソコンの電源を切らないでください
  パソコンの電源が入っていないと、予約録画ができません。予約録画の設定後、パソコンを使用しないときは、電源を切らずにスリープか休止状態にしてください。
- LIFEBOOKをお使いの場合、液晶ディスプレイを閉じないでください
  放熱が妨げられるため、故障の原因となります。
- スリープになるまでの時間を変更しないでください
  予約録画をするときは、コンピューターがスリープになるまでの時間をご購入時の設定から変更しないでください。ご購入時の設定から変更している場合は、（スタート）▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にクリックします。「バランス(推奨）」のをクリックしてにしてから、ウィンドウ左の「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をクリックして表示される画面で、「このプランの設定を復元」をクリックしてください。変更した場合、予約録画に失敗することがありますので注意してください。
- ダブル録画に対応している機種の場合、予約録画の開始時間に他の番組を録画していたり、テレビを視聴していたりすると、ダブルチューナーのうちの空いているほうが自動的に使用されます。

予約録画が重複した場合

- ダブル録画に対応している機種では、予約録画が2つ重なっていても正常に録画が行われます。予約録画が3つ以上重なっている場合に、最も開始時刻の遅い番組の、重複している時間帯が録画されません。
  ダブル録画に対応していない機種では、予約録画が2つ重なっている場合、開始時刻が早いほうの番組が優先され、遅いほうは重複する時間帯が録画されません。
  詳しくは、マイクロソフト株式会社のWebページ
  （http://support.microsoft.com/kb/967652/ja/）をご覧ください。

例）ダブル録画対応機種

例）それ以外の機種

予約1
予約2
番組A
番組B
録画されません。

録画したデジタル放送番組に関する注意

- ハードディスクにある録画データは、他のパソコンなどにコピーまたは移動して再生できません。録画したパソコンでのみ再生可能です。なお、録画したパソコンでも、ハードディスクにある録画データをエクスプローラーで、コピーまたは移動しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- 移動（ムーブ）（「3.2　録画番組をディスクに保存する」の「ダビングについて」をご覧ください。）を実行した録画番組は、バックアップしておいたファイルを元の場所に戻しても、再生することはできません。
- ご購入時の状態に戻す（リカバリ）作業を実施すると、ハードディスクに録画した番組はすべて再生できなくなります。
  リカバリ後もハードディスクに録画した番組を再生したい場合は、「マイリカバリ」でディスクイメージを作成し、リカバリ実施後、「マイリカバリ」の「もどす」を実行してください。なお、再生が可能な録画番組は、「マイリカバリ」でディスクイメージを作成した時点までのものとなります。
  「マイリカバリ」について、詳しくは、『取扱説明書』の「5.バックアップ」―「マイリカバリ」をご覧ください。
- このパソコンで録画すると、パソコンとテレビチューナー固有のIDを使って、録画番組が暗号化されます。著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。万一なんらかの不具合が起きて、番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ご購入時の設定では、ハードディスクの空き容量が少なくなると、古い録画日時の番組から順次自動的に削除されます。この設定は、「録画の既定値の保存」で変更することができます。変更方法は、「2.2　テレビ番組を録画する」の「録画の設定をする」をご覧ください。
- HDMI接続で他のディスプレイに表示した場合（HDMI出力端子搭載機種のみ）は、ディスプレイの仕様によってはハイビジョン表示にならないことがあります。

2.2　テレビ番組を録画する

ここでは、見ている番組を録画したり、予約録画をする方法について説明します。

■ 見ている番組を録画する

現在見ているテレビ番組や、チャンネルを切り替えながらみつけた番組を録画したいときは、次の操作ですぐに録画を開始できます。

1. **録画したいチャンネルに切り替えます。**
2. **録画を始める場合は、【録画】を押します。**
   もう一度押すと、シリーズ録画になります。
   さらにもう一度押すと、録画を停止します。

■ 録画に関する設定

設定項目（録画全般についての既定値）

保存	録画番組のデータを保存する期間を選択します。 （初期値：領域が足りなくなるまで）
録画開始	予約の何分前から録画を開始するかを選択します。（初期値：2分前）
録画終了	予約の何分後まで録画するかを選択します。（初期値：3分後）
優先する音声の言語	録画する音声を選択します。（初期値：番組の元の言語）

シリーズ録画に関する設定項目（シリーズ録画のみの既定値）

シリーズ録画については、「2.2　テレビ番組を録画する」の「番組表で予約録画する」をご覧ください。

番組の種類	再放送の番組を録画するかなどを選択します。（初期値：新規と再放送）
チャンネル	複数チャンネルで放送される番組について、他チャンネルの放送も録画するかを選択します。（初期値：1つのチャンネルのみ）
放送時刻	特定の時間帯のみ録画するか選択します。（初期値：時間指定なし）
保存する回数	そのシリーズの番組を保存する数を選択します。（初期値：可能な限り）

Point　録画に必要なハードディスク容量

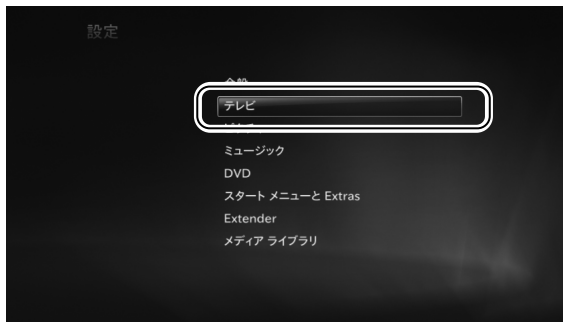
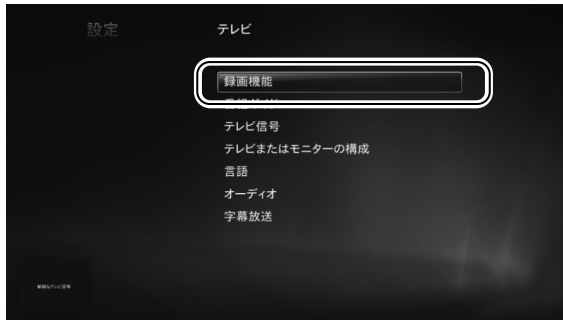
録画には、ハードディスクに充分な空き容量が必要です。録画前に確認してください。

放送番組の種別	1時間分の録画データを保存するためのハードディスク容量
ハイビジョン（HD）放送	約7650MB（約7.6GB）
標準（SD）放送	約3600MB（約3.6GB）

録画の設定をする

「録画全般についての既定値」や「シリーズ録画のみの既定値」を設定します。

1. を押します。
2. ‹↕›で「タスク」▶「設定」を選択し、【決定】を押します。

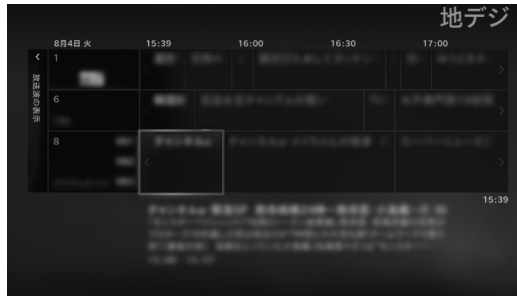
3. ‹↕›で「テレビ」を選択し、【決定】を押します。

4. ‹↕›で「録画機能」を選択し、【決定】を押します。

5. ‹↕›で「録画の既定値」を選択し、【決定】を押します。
6. ‹↕›で設定したい項目を選択して【決定】を押し、設定を変更します。
   ※画面を下にスクロールすると「シリーズ録画のみの既定値」が表示されます。
7. 設定が終わったら、‹↕›で「保存」を選択し、【決定】を押します。

■ 番組表で予約録画する

番組表から予約録画をする方法について説明します。

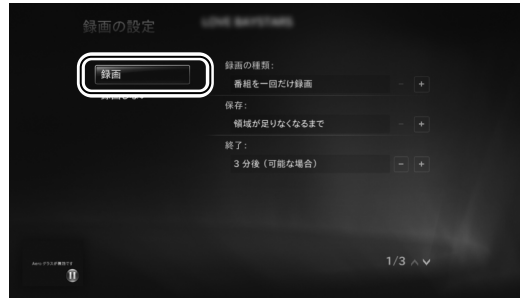
設定どおりに録画する

前節で説明している「録画の設定をする」で設定したとおりに録画する方法です。

1. 【番組表】を押します。
2. ‹⌃⌄›で予約したい番組を選択し、【録画】を押します。
   もう一度【録画】を押すと、シリーズ録画になります。

番組の検索方法など、番組表の使い方については、「1.4　番組表を使う」をご覧ください。予約が完了すると、番組表の該当番組に●が表示されます。

設定を変更して録画する

1. 【番組表】を押します。
2. ‹⌃⌄›で予約したい番組を選択し、【決定】を押します。
3. ››)を押します。
4. ‹⌃⌄›で「録画の詳細設定」を選択し、【決定】を押します。

5. 各種設定を変更した後、「録画」を選択し、【決定】を押します。

■ 予約録画の変更と削除

1. 「番組表」を押します。

2. ‹◇›で●（シリーズ録画の場合は●）が付いている番組を選択し、【決定】を押します。

予約録画を変更する場合

1. ››を押します。
2. 変更したい項目を選択し、設定を変更します。

予約録画を削除する場合

1. ‹◇›で「録画しない」または「シリーズ録画の取り消し」を選択し、【決定】を押します。

Point パソコンの時刻合わせ

パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。時刻を合わせるときは、（スタート）▶「コントロールパネル」▶「時計、言語、および地域」▶「日付と時刻の設定」の順にクリックします。設定方法について、詳しくは「日付と時刻」の画面で「時計とタイムゾーンの設定方法」をクリックし、表示される説明をご覧ください。

Point シリーズ録画について

シリーズ録画をすると、毎週放送される番組などを一度に予約することができます。ただし、番組のジャンルに「映画」が入っている場合、シリーズ録画はできません。シリーズ録画の設定変更については、前節の「録画の設定をする」をご覧ください。

第3章　録画番組を再生する／保存する

本章では、ハードディスクに録画した番組を再生したり、ディスクに保存したり、削除する方法について説明します。

3.1　録画番組を再生する

ここでは、ハードディスクに録画したテレビ番組、ディスクに保存したテレビ番組を再生する操作について説明します。

■ 録画番組の再生

1. 【録画番組】を押します。
2. ‹⌃⌄›で見たい番組を選択し、【決定】を押します。
3. ‹⌃⌄›で「再生」を選択し、【決定】を押します。
   番組の再生が始まります。
4. 番組の再生を終える場合は、【停止】を押します。
   再生した番組の概要画面に戻ります。

■ 録画番組を再生するときの注意

- このパソコンで録画すると、パソコンのテレビチューナー固有のIDを使って、録画番組が暗号化されます。著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。
  万一なんらかの不具合が起きて、番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ネットワークを経由し、他の機器で再生することはできません。

■ 再生中の操作

録画した番組の再生中は、リモコンを使って次の操作ができます。

したい操作	リモコンで押すボタン
再生を停止する	停止 ■
一時停止する	一時停止 ❚❚
一時停止後に再生する	一時停止 ❚❚　再生 ▶
早送りする	早送り ▶▶
巻き戻す	巻戻し ◀◀
約30秒間早送りする	順スキップ ▶▶❘
約7秒間巻き戻す	逆スキップ ❘◀◀

3.2　録画番組をディスクに保存する

ハードディスクに録画したテレビ番組は、「Windows Media Center」を使ってディスクに保存できます。ここでは、録画番組をディスクに保存する操作について説明します。

重要　AACSキーを更新してお使いください

Blu-ray Discへ録画データを保存する場合は、AACS（Advanced Access Content System）と呼ばれる著作権保護技術によって、データが暗号化されます。暗号化されるときには、「AACSキー」という電子データが働きます。パソコンに入っているAACSキーには有効期限が設けられているため、定期的に更新する必要があります。更新する方法について詳しくは、インターネットに接続して次のURLをご覧ください。

http://www.fmworld.net/aacs

Point　インターネットに接続してください

録画番組をディスクに保存するには、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行うために、常にパソコンをインターネットに接続してください。

■ 対応ディスク

対応するディスクには、DVDとBlu-ray Discがあります。Blu-ray Discは、Blu-ray Discドライブを搭載した機種で使用できます。
このパソコンの推奨ディスクについては、『取扱説明書』の「推奨ディスク」をご覧ください。

※ CPRM（Content Protection for Recordable Media）対応のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAMに保存できます。

- DVD-R、DVD-R DLは、1回のみデータを書き込めます。書き込んだデータの削除や書き換えはできません。また、録画データを保存したDVD-R、DVD-R DLに、データは追記できません。
- DVD-RW、DVD-RAMは、書き込んだデータの削除や書き換えが可能です。データが不要になったら削除して、別のデータの保存に使えます。
- CPRM対応のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAMに保存したテレビ番組は、「WinDVD」またはCPRM対応のDVDに対応したプレーヤーで再生できます。
なお、CPRM対応のDVDに対応したDVDプレーヤーであっても再生できない場合がありますが、このパソコンの故障ではありません。
- DVD-RAMは、カートリッジなしタイプまたはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをご購入ください。
カートリッジに入れた状態で使用するタイプ（Type1）は使用できません。また、カートリッジからディスクを無理に取り出して使わないでください。

- DVDに保存する場合、保存操作中に「高画質（XP）」「標準画質（SP）」「長時間（LP）」「ディスク容量に自動調整」の4つの記録モードを選択できます。記録モードごとの記録時間の目安は、次のとおりです。

記録モード	DVD-R / DVD-RW / DVD-RAM 注1（約4.7GB）	DVD-R DL（約8.5GB）
高画質（XP）	約1時間	約2時間
標準画質（SP）	約2時間	約3時間30分
長時間（LP）	約4時間	約7時間30分
ディスク容量に自動調整 注2	約3時間30分	約7時間

注1： DVD-RAMの片面ディスクです。

注2： ディスクの空き容量に収まるように、画質を調整して書き込むモードです。表内の時間は、1枚のディスクに最長何時間のテレビ番組を収めることができるかを示しています。なお、両面ディスクを使用した場合は、片面のみへの書き込みとなります。
・ディスクの空き容量によっては、収まらない場合があります。
・1時間に満たないテレビ番組は、ディスクに空き容量ができる場合があります。

Blu-ray Disc BD-R BD-R DL BD-RE BD-RE DL

- 大容量のデータ保存が可能です。
地上デジタル放送やハイビジョン（HD）放送などの保存に適しています。
- BD-R、BD-R DLは、1回のみデータを書き込めます。書き込んだデータの削除や書き換えはできません。
- BD-RE、BD-RE DLは、書き込んだデータの削除や書き換えが可能です。
データが不要になったら削除して、別のデータの保存に使えます。
- Blu-ray Discに保存したテレビ番組は、「WinDVD」で再生できます。
- このパソコンは、BD-RE Ver1.0に対応していません。
- BD-R LTH Type（記録層に有機色素材料が使用されているBD-R）に対応しています。
- Blu-ray Discの記録時間の目安は次のとおりです。

放送番組の種別		BD-R/BD-RE（約25GB）	BD-R DL/BD-RE DL（約50GB）
地上デジタル放送	ハイビジョン（HD）放送	約3時間	約6時間
	標準（SD）放送	約4時間30分	約9時間

■ 作成されるディスクの状態

録画番組をディスクに保存すると、次の状態でディスクが作成されます。

＊：ディスクに保存したときに、ハードディスク上の録画データから変換や削除される項目

	DVD	Blu-ray Disc
フォーマット形式	DVD-VR	BDAV2.0
ハイビジョン（HD）放送の録画画質	標準（SD）に変換＊	ハイビジョン（HD）
データ放送のデータ 注1	削除＊	削除＊
番組情報のデータ 注1	削除＊	削除＊
字幕放送のデータ 注1	削除＊	削除＊
副音声	音声1のみ保存	保存 注2
5.1チャンネルの音声	2チャンネルに変換＊	保存

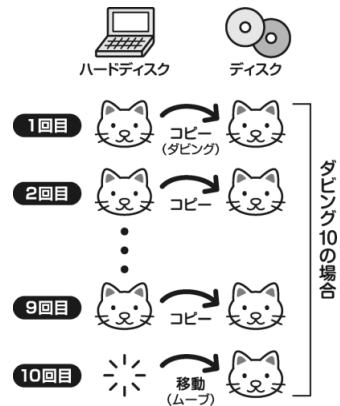
注1：ディスク上に、データ放送、番組情報のデータが保存されていても、「WinDVD」では表示されません。

注2：副音声には、番組によって2種類の形式があります。
二重音声放送（主・副音声のみ）の番組の場合、すべての音声が保存されます。
マルチ音声放送（3つ以上の音声を含むことが可能）の番組の場合、音声1のみ保存されます。

■ ダビングについて

ハードディスクに録画番組を残したまま、DVDまたはBlu-ray Discに録画番組のデータをコピー（バックアップ）することを「ダビング」といいます。

ダビングの特徴

- ダビングができる回数は、録画番組によって異なります。
ディスクへのダビングができる回数は、録画番組に含まれているコピー制御信号の種類によって異なります。
「ダビング10」という信号が含まれている番組の場合は、最大9回までデータをディスクにコピーすることができ、10回目にデータをディスクに保存すると、データがハードディスクから移動（ムーブ）して削除されます。
このほか、一度ディスクにデータを保存するとハードディスクから削除される番組（コピーワンス）や、何度でもディスクにコピーすることのできる番組（コピーフリー）もあります。
- 録画番組をCPRM対応ディスクに保存できます。
録画番組をCPRM対応ディスクに保存すると、「WinDVD」またはCPRM対応DVDプレーヤーで再生することができます。（なお、CPRM対応のDVDプレーヤーであっても再生できない場合がありますが、これはパソコンの故障ではありません。）
また、Blu-ray Discに保存した録画番組は、「WinDVD」またはBlu-ray Discに対応したプレーヤーで再生することができます（Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ）。

ダビングをするときの注意

- 他のソフトウェアを起動または操作しないでください。
- ダビング中は番組の視聴、録画や録画番組の再生ができません。
  また、番組の視聴中や録画番組の再生中にダビングを始めると、視聴・再生していた番組の映像が見えなくなり、音声だけが聞こえる状態になります。音声を停止したい場合は「停止」を押してください。
- 大切な録画番組のデータをディスクに保存する前に、テスト用の録画番組のデータをディスクに保存し、お手持ちの機器で再生可能か確認してください。
- 録画番組を保存するディスクにデータが入っているとき、ディスクのフォーマットを行うとすべてのデータが削除されます。データを削除したくない場合は、フォーマットをせずに追記するか、新しいディスクを用意してください。
- DVD-RAMに録画番組のデータを追記する場合、ディスクに録画番組以外のデータが入っていると、追記ができません。ディスクに入っているデータが録画番組だけの場合には追記が可能です。
- ディスクの作成時間は録画番組の再生時間よりも長くなる場合があります。
- ダビングの正確な書き込み回数はマイクロソフト社のサーバーで管理されています。録画番組一覧に表示される、残りの書き込み回数はあくまで目安です。
- 「ダビング10」に対応した番組のダビング途中で失敗・キャンセルした場合は、その時点までのデータがディスクに書き込まれ、ダビング可能回数が1回減ります。
- 録画番組のデータをハードディスクからディスクに移動（ムーブ）しているときに、停電などによる電源断など不慮の事故や強制シャットダウンによってパソコン本体が停止したり、記録しているディスクの傷や汚れによって書き込みが中断したりした場合、移動（ムーブ）を実行していた録画番組のデータはハードディスクから一部、またはすべてが削除されることがあります。このとき、録画番組の一部、またはすべてを再生できなくなることがありますのでご注意ください。

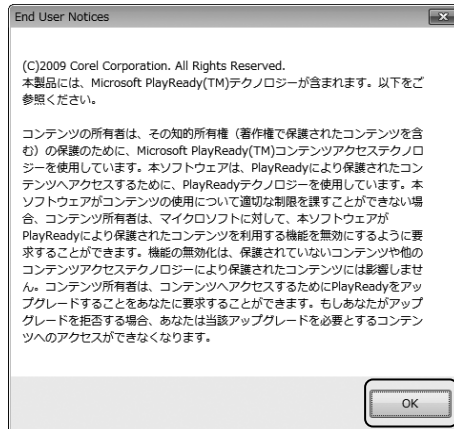
■ ダビングする

作業の前に、パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。
インターネットに接続されていないと、書き込みが正常に行われません。

1. ディスクをパソコン本体にセットします。

2. ⊞を押します。

3. ‹ ⌃⌄ ›で「**FUJITSU**」▶「録画番組をダビング」を選択し、【決定】を押します。

4. 初めてダビングする場合は、次の画面が表示されます。
内容を確認し、「**OK**」が選択されていることを確認して、【決定】を押します。

5. 録画番組の一覧から、‹↕›でディスクに保存したい番組を選択し、【決定】を押します。

各番組のダビング可能回数（目安）が表示されます。
‹↕›で「タイトル」か「録画日時」を選択し、【決定】を押すと、録画番組を並べ変えることができます。

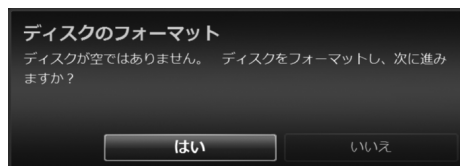
6. 書き込みをするディスクの種類（フォーマット）を選択します。

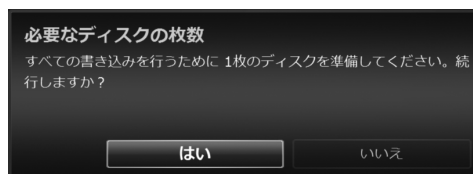
※画面は機種や状況により異なります。

1. ‹↕›でディスクの種類を選択します。
   ディスクの必要枚数が、目安として表示されます。
   「ディスク容量に自動調整」は3時間40分までの番組で有効な機能です。
   それ以上の番組を書き出す場合は、「LP」を選択してください。
2. 【決定】を押し、◯を◉にします。
3. 「次へ」が選択されていることを確認し、【決定】を押します。

7. 書き込みをするディスクが入っているドライブを選択します。

1. ‹↕›でドライブを選択します。
2. 【決定】を押し、○を◉にします。
3. 「次へ」が選択されていることを確認し、【決定】を押します。

8. ディスクにすでにデータが入っている場合は、「ディスクをフォーマットし、次へ進みますか？」というメッセージが表示されます。ディスクをフォーマット（初期化）する場合は‹↕›で「はい」を選択し、【決定】を押します。

データを追記したい場合は‹↕›で「いいえ」を選択し、【決定】を押します。
使用ディスクがDVD-R、DVD-R DL、BD-R、BD-R DLの場合は表示されません。
Windowsエクスプローラーからフォーマットした DVD-RAMの場合、「サポートしていないディスクフォーマットです。」と表示されます。この場合、「はい」をクリックしてください。

9. 書き込みに必要なディスクの枚数を確認します。
‹↕›で「はい」を選択し、【決定】を押します。

このウィンドウは、複数のディスクが必要な場合に表示されます。
ディスクの空き容量などによって、手順6で表示された必要枚数とは異なる場合があります。
ディスクへの書き込みが開始されます。

10. 書き込みが終了したというメッセージが表示されたら、‹↕›で「はい」を選択し、【決定】を押します。

これでディスクへの書き込みが完了しました。

3.3　ディスクに保存した録画番組を再生する

ここでは、ディスクに保存したテレビ番組を再生する操作について説明します。ディスクに保存したテレビ番組を再生するには、添付のソフトウェア「WinDVD」が必要です。
「WinDVD」については、「WinDVD」の?をクリックして、ヘルプをご覧ください。

■ ディスクを再生するときの注意

- 保存したテレビ番組に、データ放送、番組情報のデータが含まれていても、「WinDVD」では表示されません。
- 動画や音声をスムーズに再生できない場合があります。
  お使いになるディスクのタイトルによっては、動画や音声をスムーズに再生できない場合があります。
- ディスクを再生する前に、他のソフトウェアを終了させてください。また、再生中は他のソフトウェアの起動や他の操作は行わないでください。パソコンのCPUやハードディスクに負荷がかかるため、ディスクが正しく再生されない原因となります。
- ディスクの再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。
- 「WinDVD」を常に最新の状態に更新してお使いください。
  このパソコンには、ディスクを再生するソフトウェア「WinDVD」が用意されています。より快適にディスクを視聴するために、「WinDVD」を常に最新の状態に更新してお使いください。「WinDVD」を更新するには、「アップデートナビ」を実行してください。「アップデートナビ」の実行方法については、『取扱説明書』の「アップデートナビを実行する」をご覧ください。
- 「Windows Media Center」でテレビ番組を録画している間は、ディスクを再生しないでください。
  ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- ディスクの再生は、予約録画が設定されていない時間帯に行ってください。
  ディスクの再生中にテレビ番組の予約録画が開始されると、ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- このパソコンのAACSキーを更新してお使いください（Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ）。
  Blu-ray Disc内の録画データは、AACS（Advanced Access Content System）と呼ばれる著作権保護技術によって暗号化されています。暗号化されたデータを再生するときには、「AACSキー」という電子データが働きます。パソコンに入っているAACSキーには有効期限が設けられているため、定期的に更新する必要があります。更新する方法について詳しくは、インターネットに接続して次のURLをご覧ください。

  http://www.fmworld.net/aacs/

■ ディスクに保存した録画番組の再生

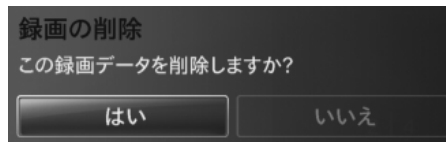
1. ディスクをパソコン本体にセットします。
「自動再生」ウィンドウが表示されます。

2. 「***ビデオの再生 **-Corel WinDVD**使用」をクリックします。
「***」には、DVDの場合は「DVD」が、Blu-ray Discの場合は「BDDVD」が表示されます。

3.4　録画番組を削除する

ここでは、ハードディスク内の録画番組を削除する操作について説明します。
録画番組を削除すると、元に戻すことはできません。録画番組を保存したい場合は、「3.2　録画番組をディスクに保存する」をご覧になり、ディスクに保存してください。

1. 【録画番組】を押します。
   録画したテレビ番組の一覧が表示されます。
2. ‹⌃⌄›で削除したい録画番組を選択し、【決定】を押します。

3. ‹⌃⌄›で「削除」を選択し、【決定】を押します。
4. ‹⌃⌄›で「はい」を選択し、【決定】を押します。
   録画番組が削除されます。

第4章　外付けハードディスク

このパソコンでは、USB接続した外付けハードディスクに、テレビ番組を直接録画したり、ハードディスクに録画した番組をディスクに保存することができます。
ここでは外付けハードディスクを使うときの準備や、注意事項について説明します。

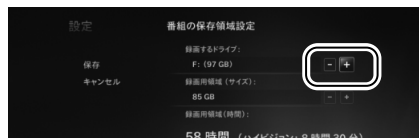
4.1　外付けハードディスクを使う

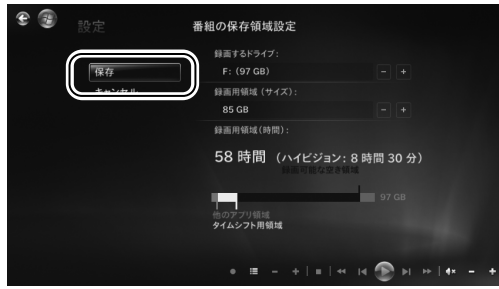
■ 外付けハードディスクを使用するときの注意

- NTFS形式に初期化（フォーマット）されたUSB2.0以上対応のハードディスクのみ、使用することができます。
- 外付けハードディスクは本体に直接接続してください。USBハブ経由で接続した場合、録画やディスクへの保存に失敗するなどの問題が発生することがあります。
- 作業を開始する前に、外付けハードディスクが使用可能な状態になっているか確認してください。指定したドライブが作業開始時に使用可能な状態になっていないと、録画やディスクへの保存ができません。
- 「Windows Media Center」を終了しても、「このデバイスは現在使用中です」とエラー表示され、外付けハードディスクが取り外せない場合があります。この場合は、数分待ってから再度操作してください。

■ 録画の準備をする

ご購入時の状態では、録画番組は内蔵ハードディスクに保存されます。USB接続した外付けハードディスクに直接録画するときは、録画の前に次の手順で録画番組の保存先を変更してください。

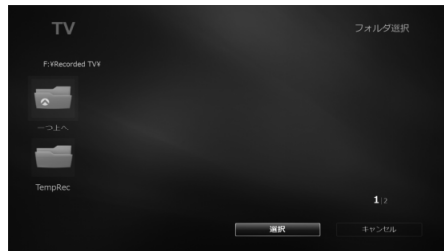
1. ⊞を押します。
2. ‹ ⌃⌄ ›で「タスク」►「設定」►「テレビ」►「録画機能」►「番組の保存領域設定」を選択し、【決定】を押します。
3. ‹ ⌃⌄ ›で「録画するドライブ」の＋ －を選択し、【決定】を押してドライブを切り替え、外付けハードディスクを選択します。

4. 必要に応じて「録画用領域（サイズ）」の＋ －を押し、外付けハードディスクの録画用領域のサイズを変更します。

5. 設定が終わったら、‹↕›で「保存」を選択し、【決定】を押します。

この設定をした後に録画をすると、録画番組は外付けハードディスクに保存されます。録画の手順について、詳しくは「2.2　テレビ番組を録画する」をご覧ください。

■ ディスクに保存する準備をする

1. ⊞を押します。

2. ‹↕›で「**FUJITSU**」▶「録画番組をダビング」を選択し、【決定】を押します。

3. 画面の何もないところを右クリックし、「フォルダ選択」▶「一つ上へ」▶「一つ上へ」▶「（外付けハードディスクのドライブ）」▶「**Recorded TV**」の順にクリックし、「選択」をクリックします。

録画番組の一覧に外付けハードディスク内の録画番組が表示され、ディスクに保存することができるようになります。ディスクへの保存について、詳しくは「3.2　録画番組をディスクに保存する」の「ダビングする」をご覧ください。

第5章　困ったときのQ&A

本章では、画面表示や音声などでトラブルが発生した場合の原因と対処法について説明します。

5.1　画面がおかしい

ここでは、画面の表示や映像の状態に関するトラブルをまとめています。

点灯したままの点や黒い点が画面に表示される

液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。有効ドット数[注]の割合は99.99%以上です。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

注：　有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイが表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています。

番組によって映像の周りに黒い部分がある

アナログ標準放送用カメラやアナログハイビジョン放送用カメラで作成された番組の場合、映像の周囲に黒い部分が表示されることがあります。
これはパソコンの故障ではありませんので、そのままお使いください。

画面が表示されない

電源ランプが消灯している場合、次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	ACケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない
対処	ACケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「初めて電源を入れる」をご覧ください。

原因	電源が入っていない
対処	電源を入れてください。 詳しくは、『取扱説明書』の「電源を入れる／切る」をご覧ください。

原因	「おやすみディスプレイ」機能を使用している（ESPRIMOをお使いの方）
対処	キーボードのキーを押して、画面が表示されるか確認してください。画面オフボタンを押した状態になっている場合は、もう一度画面オフボタンを押すと画面が表示されます。

原因	画面オフボタンを押した状態にしている（ESPRIMOをお使いの方）
対処	キーボードのキーを押して、画面が表示されるか確認してください。画面オフボタンを押した状態になっている場合は、もう一度画面オフボタンを押すと画面が表示されます。

原因	「電源オプション」の電源プランに従ってディスプレイの電源が切れている
対処	キーボードのキーを押して、画面が表示されるか確認してください。

DVDが再生できない、DVDの画像が乱れる

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	ディスクが裏返しになっている
対処	ディスクの表裏を確認してください。

原因	ディスクが汚れている
対処	ディスクのデータ面を柔らかい布できれいに拭いてください。

原因	ディスクに傷がある、またはディスクが反っている
対処	傷ついたディスクや反ったディスクは使用できません。他のディスクをお使いください。

原因	ファイナライズされていない
対処	書き込みに使う機器やソフトウェアの種類によって、互換性に違いがあります。 VRフォーマットで記録されたDVDディスクは、このパソコンでは再生できない場合があります。 VRフォーマットで記録されたDVDディスクが再生できない場合は、ディスクの「ファイナライズ」を行うことで、再生できるようになる場合があります。ファイナライズの方法については、書き込みに使った機器やソフトウェアのマニュアルなどをご確認ください。

Blu-ray Discが再生できない（Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ）

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	「WinDVD」以外のソフトウェアで再生しようとした
対処	Blu-ray Discを再生する場合は、「WinDVD」でご覧ください。

地上デジタル放送が映らない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない
対処	アンテナケーブルを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

原因	お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリアではない
対処	お住まいの地域に地上デジタル放送が開局していない場合は、地上デジタル放送が映りません。地上デジタル放送の放送エリアを確認するには、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2010年8月現在）をご覧ください。 なお、サービスエリア内であっても、地形やビルなどによって電波がさえぎられる場合や電波が弱い場合などの理由により、視聴できないことがあります。

原因	地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナを使用していない
対処	地上デジタル放送対応のUHFアンテナを接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

原因	B-CASカードが正しくセットされていない
対処	B-CASカードが正しくセットされていないと、地上デジタル放送を見ることができません。B-CASカードを正しくセットしてください。詳しくは、『取扱説明書』の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。

原因	ケーブルテレビの伝送方式が対応していない
対処	ケーブルテレビで地上デジタル放送をご利用になる場合、ケーブルテレビ会社によりデータの伝送方式が異なります。このパソコンが対応している伝送方式は、同一周波数パススルー方式と周波数変換パススルー方式です。 伝送方式をご契約のケーブルテレビ会社にご確認ください。

原因	チャンネル設定が地域と合っていない
対処	お住まいの地域と一致した設定になっていることを確認してください。

原因	インターネットに接続していない
対処	テレビの視聴や録画には、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行うために、パソコンをインターネットに接続してください。

原因	パソコンの日付と時刻が正しく設定されていない
対処	パソコンの日付と時刻が正しく設定されていないと、正常にライセンス認証が行えないので、日付と時刻の設定が正しいか確認してください。 詳しくは、「2.2　テレビ番組を録画する」の「パソコンの時刻合わせ」をご覧ください。

原因	アンテナの角度が適切でない
対処	アンテナの角度によっては、受信レベルが低く、映りが悪くなることがあります。「Windows Media Center」では、デジタル放送の受信レベルをテストし、アンテナの角度が最適かどうかを確認することができます。を押して「Windows Media Center」のメニュー画面を表示します。「Extras」▶「Extrasライブラリ」▶「テレビ設定」▶「アンテナレベル確認ツール」の順にクリックし、スキャンをすると、スキャンした放送局の受信レベルが表示されます。 受信レベルが60前後（またはそれ以上）になっていれば、アンテナの角度が最適の状態で、映像を正しく表示できます。なお、ここで表示される受信レベルの数値は、具体的な信号の強度を示すものではありません。 アンテナの角度を変えても受信レベルが低い場合は、市販のアッテネーターを使用することで状態が改善されることがあります。 ※　「現在Media Centerがテレビチューナーを利用中のため、本ツールを利用できません。」というメッセージが表示され、スキャンができないときは、しばらくたってから再度実行してください。

地上デジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	UHFアンテナの向きが違う
対処	デジタル放送の送信塔の方向が現在のアナログ放送と異なる場合は、アンテナの向きを変えてください。

原因	アンテナケーブル、またはアンテナ変換ケーブルの接続がゆるい
対処	アンテナケーブルまたはアンテナ変換ケーブルが、しっかり接続されているか確認してください。また、アンテナケーブルはノイズの入りにくいネジ式F型コネクタのものをお使いください。

原因	分配器を使用していることで電波が弱くなっている
対処	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。

原因	分波器を使用していない
対処	BS・110度CSデジタル放送とアンテナ線が混合している環境の場合は、分波器をお使いください。

原因	他のソフトウェアが動作している
対処	次の例のように、他のソフトウェアの動作状況に影響される場合があります。 ・セキュリティ対策ソフトがウイルススキャンを行っているとき ・他のソフトウェアの起動・終了時

5.2　音が聞こえない／変な音が聞こえる

ここでは、音声の状態に関するトラブルをまとめています。

スピーカーから音が聞こえない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	音量が小さすぎる
対処	リモコンの音量ボタンで音量を調節してください。

原因	パソコン本体にヘッドホンが接続されている
対処	パソコン本体にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。

雑音が聞こえる

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	パソコンの近くで電波を発生する装置（携帯電話、PHSなど）を使用している
対処	故障ではありません。携帯電話、PHSなどをパソコンから離してお使いになるか、使用をおやめください。

5.3　操作が効かない

ここでは、リモコン、予約録画、双方向サービスに関するトラブルをまとめています。

リモコンが効かない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	リモコンの電池が消耗している
対処	リモコンの電池を交換してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「リモコンに乾電池を入れる」をご覧ください。

原因	リモコンの電池の使用推奨期限が過ぎている
対処	電池には使用推奨期限が明記されています。使用推奨期限を確認してください。使用推奨期限が過ぎていると、正常に動作しないことがあります。

原因	リモコンの電池が正しい向きに入っていない
対処	電池の極性（＋－）を正しい向きにして入れてください。電池が正しい向きに入っていないと、リモコンは動作しません。 詳しくは、『取扱説明書』の「リモコンに乾電池を入れる」をご覧ください。

原因	ACケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない
対処	ACケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「初めて電源を入れる」をご覧ください。

原因	リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている
対処	パソコンの向き、設置場所を変えてください。

原因	リモコンの信号がリモコン受光部に届いていない
対処	リモコン受光部の使用可能範囲内で、リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。詳しくは、『取扱説明書』の「パソコン本体のリモコン受光範囲」をご覧ください。

原因	リモコンの信号をパソコンが正しく受信していない
対処	リモコンがリモコン受光部に正しく向いていなかったり、リモコンとパソコンの間に障害物などがあったりすると、リモコンは正しく動作しません。 詳しくは、『取扱説明書』の「リモコンをお使いになるうえでの注意」をご覧ください。

原因	リモコンマネージャーが起動していない
対処	リモコンをお使いになる場合は、「リモコンマネージャー」が起動している必要があります。画面右下の通知領域にあるをクリックし、が表示されているか確認してください。表示されていない場合は、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「リモコンマネージャー」▶「リモコンマネージャー」の順にクリックします。通知領域の隠れている部分に、が表示されたことを確認してください。 また、パソコンのセットアップ時に「必ず実行してください」を実行していないと、リモコンマネージャーが正常に動作しないことがあります。デスクトップに（必ず実行してください）が表示されている場合は、クリックして「必ず実行してください」の処理を終了してください。

原因	リモコンマネージャーがインストールされていない
対処	リカバリなどを行った後に、リモコンマネージャーがインストールされていないと、リモコンを使用できません。 詳しくは、『補足情報』の「ソフトウェア」をご覧ください。

予約録画に失敗する

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	予約時刻にWindows Updateが行われた
対処	テレビ番組の録画中に、Windows Updateが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。テレビ番組の録画時間とWindows Updateの自動更新の実行時刻が重ならないようにしてください。Windows Updateの自動更新の設定は、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Windows Update」の順にクリックし、「設定の変更」をクリックして表示される画面で、確認、変更できます。

原因	時刻設定が合っていない
対処	「Windows Media Center」で予約録画するときは、パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。パソコンの時刻を正しく設定してください。 詳しくは、「2.2　テレビ番組を録画する」の「パソコンの時刻合わせ」をご覧ください。

原因	パソコンの電源が入っていない
対処	パソコンの電源が入っていないと、予約録画が開始されません。予約録画の設定後、パソコンを使用しないときは、スリープか休止状態にしてください。

原因	スリープ・休止状態からの復帰ができなかった
対処	「スリープ解除タイマーの許可」を「無効」にしていると、スリープ・休止状態から予約録画されません。（スタート）▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」▶「プラン設定の変更」▶「詳細な電源設定の変更」▶「スリープ」の順にクリックし、「スリープ解除タイマーの許可」の中の項目が「有効」になっているか確認してください。

原因	予約録画が重複している
対処	予約録画が重複していると、正常に録画ができないことがあります。詳しくは「2.1　テレビ番組を録画するときの注意」の「予約録画が重複した場合」とマイクロソフト株式会社のWebページ（http://support.microsoft.com/kb/967652/ja/）をご覧ください。

録画番組のデータが一覧に表示されない

ダビングをするとき（「3.2　録画番組をディスクに保存する」の「ダビングする」をご覧ください）に、一覧に録画番組のデータが表示されない場合、次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	録画番組のデータを保存するフォルダーを変更した
対処	ご購入時の状態では、録画番組のデータは「D:¥Recorded TV」フォルダーに保存されます。このフォルダー以外の場所にデータが保存されていると、録画番組の一覧に表示されません。録画番組のデータを一覧に表示させたい場合は、上記のフォルダーにデータを移動するか、次の手順で設定を変更します（マウスまたはフラットポイントを使って操作してください）。 1. 「録画番組をダビング」画面の何もないところを右クリックして表示される「フォルダ選択」をクリックします。 2. 録画番組のデータを保存したフォルダーをポイントします（フォルダーの名称は、「ユーザー」→「Users」、「パブリック」→「Public」のように置き換わって表示されます）。 3. 「選択」をクリックすると、選択したフォルダーに入っている録画番組が一覧に表示されるようになります。

デジタル放送の双方向サービスが利用できない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	利用している番組・放送がモデム接続しかサポートしていない
対処	このパソコンでは、モデム接続しかサポートしていない番組・放送の双方向サービスは利用できません。

5.4　メッセージが表示される

ここでは、メッセージが表示された場合の対処方法をまとめています。

デジタル放送でメッセージが表示される

メッセージ	受信できません B-CASカードが挿入されていないか、故障しているか、またはこのチューナーでは使用できません。カードが正しく挿入されているか確認してください。
対処	B-CASカードが正しくセットされていないと、デジタル放送を見ることができません。B-CASカードを正しくセットしてください。詳しくは、『取扱説明書』の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。

メッセージ	テレビ信号がありません このチャンネルのテレビ信号を検出できません。チャンネルの放送が一時的に中断されている可能性があります。それ以外の場合は、テレビアンテナを調整するか、接続し直す必要があります。
対処	天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

メッセージ	微弱なテレビ信号 テレビチューナーが、選択したチャンネルの信号を受信できません。このチャンネルを正しく受信するには、信号の調整が必要な可能性があります。このチャンネルを選択し直してみてください。問題が解決しない場合は、受信契約会社にお問い合わせください。
対処	天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

メッセージ	コピー禁止 放送局によって、このコンテンツのコピーは禁じられています。このコンテンツは録画されたコンピューターでのみ再生できます。
対処	他のパソコンの録画コンテンツをこのパソコンで再生することはできません。また、Cドライブをリカバリするとリカバリ前に録画されたコンテンツはすべて再生できなくなり、このメッセージが表示されます。 インターネットに接続していない場合にも、このメッセージが表示されます。その場合はインターネットに接続し、「Windows Media Center」を再起動してください。この現象について、Microsoft社のWebページ （http://support.microsoft.com/kb/975588/ja/および http://support.microsoft.com/kb/956400/ja/）に情報が公開されています。 あわせてご覧ください。

メッセージ	画像または音声出力の競合 現在の要求に対応できるチューナーがありません。
対処	このメッセージが出た場合は、いったん「Windows Media Center」を終了し、再度「Windows Media Center」を起動してください。

メッセージ	サービスを利用できません このチャンネルのテレビ信号を検出できません。チャンネルの放送が一時的に中断されている可能性があります。しばらくしてからやり直してください。
対処	電波の受信は正常にできていますが、放送が中断されている場合にこのメッセージが表示されます。番組が放送されている時間に再度「Windows Media Center」を起動してください。

メッセージ	Aeroグラスが無効です 保護されたこのコンテンツを再生するには、Aeroグラスを有効にする必要があります。
対処	Aeroを有効にする必要があります。デスクトップの何もないところを右クリックし、「個人設定」▶「ウィンドウの色」の順にクリックして表示される「透明感を有効にする」にチェックが付いているか確認してください。 詳しくは、Windowsのヘルプとサポートで"Aero"を検索してください。 また、Aeroが有効になっていても、他のソフトウェアによって、画面の表示が一時的に「Windows 7ベーシック」に変更されているときに、「Windows Media Center」を起動すると、このメッセージが表示されます。 その場合は、他のソフトウェアを終了してから、「Windows Media Center」を起動してください。

索引

テレビ操作ガイド
B6FJ-5191-01-01
発行日　　　2010年10月
発行責任　　富士通株式会社
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

テレビ操作ガイド

FUJITSU

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。

B6FJ-5191-01